

JR木更津駅に設置されたカップルチェア。脇には鳴らせる鐘もあり、ここに来れば2人の仲は安泰？(林修太郎撮影)



恋の町 木更津

「バレンタインムード」で町おこし

バレンタインデーの14日を前に、木更津市では町ぐるみで甘いムードを盛り上げている。市が舞台となったテレビドラマ「木更津キャッツアイ」で、男女が渡りきると結ばれるという伝説が語られた中の島大橋にとどまらず、最近では新スポットやイベントが相次いでお目見え。市内外のカップルを引きつける「恋の町」に名乗りを挙げている。

市内にはレジャー施設が少なく、特に冬の観光客が伸び悩んでいた。その課題を克服するため、市内の有志団体などが尽力。平成22年にNPO団体から中の島大橋が「恋人の聖地」認定を得た。

また、木更津港内港周辺では、初の試みとなる冬の打ち上げ花火「木更津恋物語 冬花火」を昨年12月からほぼ毎週の土曜日に実施しており、最終日の14日には映像作家の池端信宏さんがプロデュースする、音楽と合わせた打ち上げイベントを開催する。JR木更津駅には、JR東日本千葉支社がカップルチェアを設置した。市内の高校生が製作に協力したといい、カップルで鳴らす鐘などもある。6日のお披露目には渡辺芳邦市長も参加した。

市商工観光課の石井彰一さんは「ヤマトケルの悲恋伝説が残るなど、古くからの恋の町である木更津の知名度を上げていきたい」と展望を語った。花火などの問い合わせは市観光協会 ☎0438・22・7711。

バレンタインデーを控え、さとう千葉店(千葉市中央区)では、ハート形の粘着メモを絵馬に見立てて願いを込めるコーナー「ポスト・イットノートで絵馬」が登場。本物の絵馬に比べて気軽に書いて貼れることから、多くの来場客らが恋にまつわる願いを込めたメッセージをボードに貼り付けている。写真(林修太郎撮影)。バレンタイン後は縁結びで知られる東京大神宮(東京都千代田区)に奉納される。

今年の14日は土曜日で休日のため、同店では「本気の恋を応援する」と銘打った「バレンタインチョコレートパラダイス」を開催。「本命」や自分へのご褒美用に、例年より高額な商品をそろえている。絵馬は14日まで。

「ポスト・イット」で告白



バレンタインデーに合わせて、成田空港第1旅客ターミナルに恋愛成就を祈願できる「成恋(なりこい)神社」がお目見えした。旅行者らが願い事を書いたハート形のカードを「願箱」の中に入れてお参りしている。写真(城之内和義撮影)。「成

成田で恋が成る!?

田で恋が成る」という意味を込めた神社で、成田国際空港会社が設置した。英語、中国語、韓国語による説明もあり、興味深そうに参拝する外国人客も多い。神社は南ウイング4階出発ロビーに14日まで設置。願い事を書いたカードはイベント終了後に東京大神宮に奉納される。

第2旅客ターミナルでは、日本航空が「成田で縁結び」イベントを開催。チェックインカウンターで恋の願い事カードを14日まで無料配布している。記入したカードは15日に成田山新勝寺の光明堂で、人々に良縁をもたらすとされる愛染明王に奉納される。

